

国家権力との壮絶な死闘、そして殉教

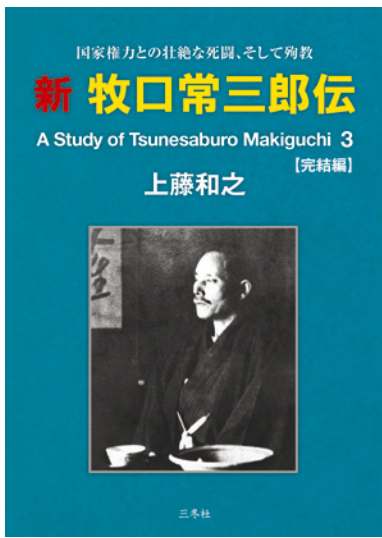
【完結編】

# 新 牧口常三郎伝 3

A Study of Tsunesaburo Makiguchi 3 上藤 和之 著



太平洋戦争末期、国家神道の軍部と対立！  
獄中でも変わらぬ牧口常三郎の信念とは？



「軍部の教育制度は、子どもの主体的な思考を妨げ、幸福と創造性を阻害している」と考え『創価教育学体系』を刊行し、“教育とは子どもたちの幸福のためにある”との姿勢を貫き獄中で亡くなった牧口常三郎の人物伝。

1943年太平洋戦争末期、治安維持法違反・不敬罪の容疑で検挙、その後、信念を貫き獄中闘争を続けた。



目次

- 第1章 最大の悪・戦争と泥沼の消耗戦(1937年～39年)
- 第2章 天皇制ファシズムに不退の挑戦
- 第3章 大善生活法を訴え、滅私奉公の戦争政策を拒否
- 第4章 地獄の戦場と「価値創造」廃刊命令
- 第5章 不服従を貫く獄中の日々と壮烈な殉教

- ISBN978-4-86563-112-8
- A5判・284頁
- 定価：本体1,300円+税10%

【著者略歴】上藤和之(うえふじ・かずゆき) ● 1945年7月、広島県に生まれる。1970年3月、京都大学工学部卒業。1970年4月、聖教新聞社に入社。論説記者、創価学会史編纂部長等を歴任。著書「革命の大河～創価学会四十五年史」(共編)、聖教新聞社、「人間主義の思想」三笠書房、「世界情勢の見方」創価大学自主講座シリーズ、「新 牧口常三郎伝1」七草書房、「新 牧口常三郎伝2」三冬社などがある。



- 目標は子供たちの幸せ!東京都ではじめての学校給食を開始。それは現代の学校給食につながる
- 特高刑事さえ味方に! 不服従と言論を武器に戦いつづける
- 青年とともに日本史上初めての教育革命をめざす
- 自然も地球生命も価値創造している! 現代文明の行き詰まりを乗り越える人新世の牧口価値論。
- 牧口価値説がマルクス労働価値説を超えるとき

キリトリ線

注文書 (全国の書店でおもていただけます)

<b>新 牧口常三郎伝 3</b> 【完結編】 著者：上藤 和之		定価 本体 1,300円+税 ISBN978-4-86563-112-8	冊	書店名/販売店
お名前				申込日 年 月 日
住所				
TEL				

